

Super Head 4Valve+R(5 軸ポート加工) ヘッドキット 取扱説明書

製品番号 01-03-0028

適応車種	GROM	(JC61-1000001 ~ 1299999) (JC61-1300001 ~) (JC75-1000001 ~)
	MSX125/SF	
	モンキー 125	(JB02-1000001 ~)
	モンキー 125 タイモデル	(MLHJB02)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎MSX125/SF、モンキー 125 タイモデルは、予期せずに仕様変更された場合、当製品が取り付け出来ない恐れがあります。予めご了承下さい。

◎当製品は、上記適応車種の車両で、このキット専用のボアアップ車専用用品です。他の車両又はこのキット専用でないボアアップ等には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎シリンダーヘッドにシリアル No. を刻印しています。部品注文時にシリアル No. が必要になる場合があります。

◎ボルト、ナットの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

◎液体パッキン等は指示がある場合のみ使用し、指示無き部分には使用しないで下さい。オイル通路を塞ぐ可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

◎燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。また、燃料タンクのガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合はハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

◎純正のシリンダーヘッドとはスパークプラグが異なるので専用のスパークプラグが必要です。又、焼け具合により熱価を設定して下さい。尚、必ず抵抗入りの物をご使用下さい。

◎エンジンオイルについては、推奨エンジンオイルをご使用下さい。

推奨：ホンダ純正ウルトラ G2 又は S9 (4 サイクル二輪車用) SAE10W-30 を基準に外気温及び使用用途にて粘度を選択。

相当品を使用する場合、次の条件を満たしている物をご使用下さい。

・API 分類 SF、SG 又は、SG 級以上の相当品

・JASO 規格：MA、MB

・SAE 規格：外気温に応じて適した粘度のオイルを使用して下さい。

◎当製品に付属するインレットパイプ COMP. は、製造方法の都合により、ポート部に小さな巣がある場合がございますが、巣のある物は弊社にて含浸処理を施しておりますので、性能上問題ありません。

◎ノーマルスロットル及びインシュレーターでの使用は可能ですが、当製品の性能を引き出す為に弊社ビッグスロットルキットと同時装着を行って下さい。

又、インジェクターはノーマルでの使用は出来ません。大容量化した弊社インジェクター (ノーマルスロットルの場合 :00-00-0487、ビッグスロットルの場合 :05-04-0044) をご使用下さい。

◎スプロケットは出力、仕様に応じた物に変更して下さい。

◎当製品は弊社推奨エンジンパーツのみ対応しております。対応していないパーツは弊社推奨エンジンパーツに交換して下さい。

◎当製品はクローズドコース競技用として開発した製品ですので、一般公道では使用しないで下さい。

◎当製品の取り付けによるエンジンの高出力化に伴いクラッチには滑りが生じ易くなります。弊社製強化クラッチスプリングへの交換を推奨します。

◎アイドリングは長くても信号待ち程度の時間にとどめ、長時間のアイドリングは避けて下さい。無風状態のアイドリングはエンジン温度上昇の原因になり、エンジンオイル循環機能の低下を招く場合があります。

◎エンジンの高出力化に伴いエンジン発熱量が増大します。油温を適切に保ち高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットの装着をお薦めします。又、スーパーオイルポンプキットの装着によりオイルクーラーの性能をさらに引き出す事が出来ます。

◎GROM(JC61-1300001 ~ /JC75-1000001 ~)、MSX125SF、モンキー 125 の場合、O₂ センサーの脱着に特殊工具が必要となります。別途、ご用意下さい。センサーソケット 17mm:08-02-0036

急発進・急加速について

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意下さい。

～特 徴～

- GROM、MSX125/SF、モンキー 125 用の Super Head 4Valve+R をベースに、更に高い出力特性の向上を可能にする為、インテークポートを 5 軸マシニングセンタにより、高精度加工を施しています。
- 5 軸加工されたインテークポートヘスミーズに吸入を行える様、5 軸加工を施したマニホールド（弊社ビッグスロットル専用）を付属させています。
- バルブロッカーアームはアルミ鍛造製とする事で軽量化を図っております。その結果、相乗効果により高回転域の出力アップに成功しました。
- インテークバルブ、エキゾーストバルブ共、2 本を備える 4 バルブ化を行い、吸排気効率を飛躍的にアップさせております。
- インテーク及びエキゾーストポート共、最適な形状、径を採用し抵抗無くスムーズな吸排気効果を可能としております。
- 4 バルブ化に伴いスパークプラグを中央に配置させ、燃料効率を向上させております。
- バルブ挟み角を最適化し、燃焼室のコンパクト化を実現させています。又、燃焼室は 3D 加工により全切削加工を行っており、個体差による出力差を最小限におさえております。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- このパーツはクローズド競技用として開発した製品ですので、一般公道では使用しないで下さい。
（道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。）
- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。35℃以下。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、十分注意して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。（部品の摩耗や損傷等で、エンジントラブルの原因となります。）

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識の無い方は、作業を行わないで下さい。（技術、知識不足による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ、安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。（火災の原因となる恐れがあります。）
- 規定トルクは必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。）
- 指示部品以外の部品の使用は、一切行わないで下さい。（部品破損により、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け、損傷部品の交換を行ってください。
（そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 走行前は必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みがあれば規定トルクで増し締めを行ってください。
（部品脱落等で、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。（ノッキング等のトラブルで事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

**このキット単体では使用する事は出来ません。
下記のキットが必要となりますので別途ご購入下さい。
(フルキット購入時除く)**

○シリンダーキット 181cc SuperHead 4Valve(+R) 専用

製品番号 : 01-04-0130

本キット専用のシリンダーとピストンのセットです。

ボア径 63 ストローク 57.9(ノーマルクランク)

181cc の高排気量で圧縮比は 12.5:1 とハイコンプ仕様です。

○オートデコンプカムシャフト

製品番号 : 01-08-0449 (10/10D)

製品番号 : 01-08-0067 (15/15D)

本キット専用のオートデコンプ付カムシャフトです。

○FI コン TYPE-X

製品番号 : 05-04-0102 GROM (JC61-1000001 ~ 1299999/1300001 ~)

MSX125/SF

製品番号 : 05-04-0103 GROM (JC75-1000001 ~)

製品番号 : 05-04-0108 モンキー 125 (JB02-1000001 ~)

モンキー 125 タイモデル (MLHJB02)

純正 ECU にカプラーオンで取り付け可能なインジェクションコントローラーです。

本キットに合わせたセッティング済みの MAP をプリセットしていますので、ご使用のボアアップキットやスロットルボディーの仕様に合った MAP をお手持ちのスマートフォンまたはパソコンで選択するだけで基本操作が完了し走行が可能になります。

また点火時期、加速ポンプ、ドエルタイム、無効噴射時間、点火時期温度補正、エンジン温度補正、気化時間を設定する事が出来ます。

※弊社製 FI コン 2 は本キットに対応しておりませんのでご注意ください。

その他推奨パーツ

○ビッグスロットルボディーキット

製品番号 : 03-05-0141 GROM (JC61-1000001 ~ 1299999/1300001 ~ /

JC75-1000001 ~)

MSX125/SF

製品番号 : 03-05-0149 モンキー 125 (JB02-1000001 ~)

モンキー 125 タイモデル (MLHJB02)

ボア径を $\phi 34$ とし、ノーマルスロットルボディーと比べ全域で高出力となり、高回転域までストレス無く回るエンジン特性になります。

●当キットにはスペシャルクラッチとの同時装着を推奨します。

ノーマルクラッチを使用される場合は、下記のクラッチスプリングをご使用下さい。

○クラッチスプリング 20k セット (30% UP)

製品番号 : 02-01-0144

当キット装着によるエンジンの高出力化に伴い、クラッチに滑りが生じる事があります。特にビッグスロットルキットを装着する際には純正クラッチスプリングではクラッチが滑りますので 30% UP クラッチスプリングの装着を推奨します。

○オイルクーラー

製品番号 : 07-07-0319 (3 フィンタイプ)

製品番号 : 07-07-0318 (4 フィンタイプ)

○オイルキャッチタンクキット

製品番号 : 07-05-0026 (JC61-1000001 ~ 1299999)

製品番号 : 07-05-0029 (JC61-1300001 ~ /JC75-1000001 ~)

(ノーマルクラッチカバー装着車用)

製品番号 : 07-05-0031 (JC61-1300001 ~ /JC75-1000001 ~)

(スペシャルクラッチカバー装着車用)

○パワーフィルター

製品番号 : 03-01-0001 GROM (JC61-1000001 ~ 1299999/1300001 ~ / JC75-1000001 ~)

製品番号 : 03-01-0009 モンキー 125 (JB02-1000001 ~)

モンキー 125 タイモデル (MLHJB02)

○大口径エアダクト

製品番号 : 03-01-0002 GROM (JC61-1000001 ~ 1299999/1300001 ~ / JC75-1000001 ~)

○エアフィルターキット ビッグスロットル専用 ($\phi 34$)

製品番号 : 03-01-0007 GROM (JC61-1000001 ~ 1299999/1300001 ~ / JC75-1000001 ~)

○スペシャルクラッチキット (WET/DRY)

○スーパーオイルポンプ

○弊社製エキゾーストマフラー

推奨パーツ、各品番、詳細は弊社総合カタログ又は WEB SITE をご覧下さい。

<http://www.takegawa.co.jp>

オプションパーツ

○軽量チタン合金バルブスプリングリテーナー

製品番号 : 01-12-0109

○ダイハート α カムチェーン 88L

製品番号 : 01-14-0004

●シリンダーヘッドには、管理用としてヘッド NO. (シリアル) を打刻しております。

リペアパーツ発注時、このヘッド NO. が必要となる場合があります。

リペア品番がわからない等で、リペアパーツが発注出来ない時は、下記の例を参考に発注して下さい。

☆シリンダーヘッド側面に打刻してある No. をひかえる。

ヘッド No-KYZ-00001

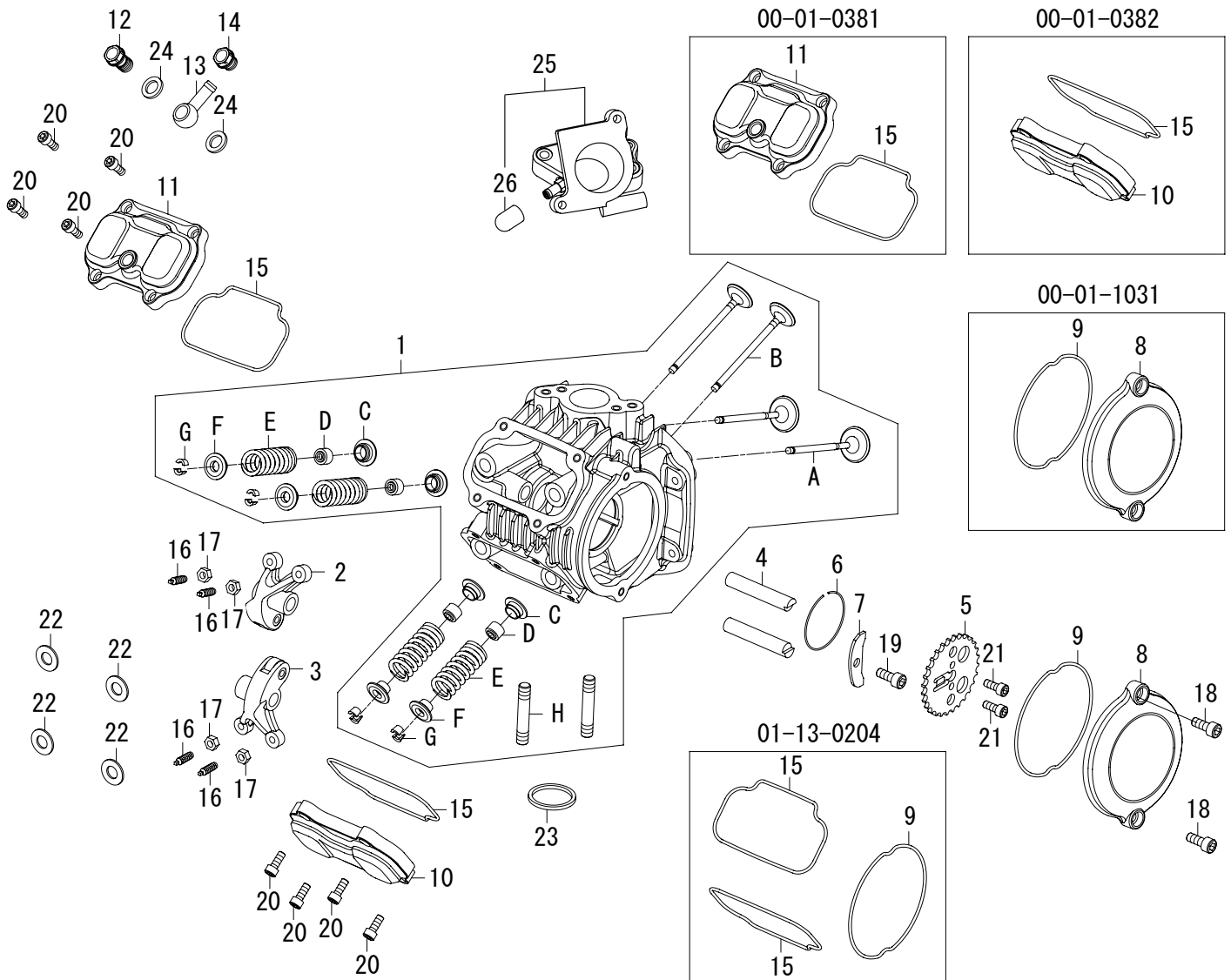
発注例→スーパーヘッドキット、リペア

ヘッド No-KYZ-00001 → インテークバルブ

数量 1 本

ヘッド No. 打刻位置
KYZ-00***





番号	部 品 名	数量	リペア品番
1	シリンダーヘッドサブ ASSY.	1	06120-KYZ-T50
2	インテークバルブロッカーアーム COMP.	1	14430-KYZ-T00
3	エキゾーストバルブロッカーアーム COMP.	1	14420-KYZ-T00
4	ロッカーアームシャフト	2	14452-K26-T10
5	カムスプロケット	1	14321-KYZ-T00
6	カムシャフトサークリップ	1	00-01-0081 (3ヶ入り)
7	ストッパープレート	1	12211-K26-T00
8	L. シリンダーヘッドサイドカバー	1	
9	L. シリンダーヘッドサイドカバー O リング	1	12395-KSS-T00
10	インスぺクションカバー	1	
11	インスぺクションブリーザーカバー	1	
12	バンジョーボルト A M10x1.25	1	00-07-0122 (シーリングワッシャ付)
13	バンジョー 10mm	1	00-00-1433
14	オイルプラグボルト	1	00-07-0072 (シーリングワッシャ付)

番号	部 品 名	数量	リペア品番
15	インスぺクションカバー O リング	2	91372-KYZ-T00
16	タペットアジャスティングスクリュー	4	00-01-0132
17	タペットアジャスティングナット	4	(各 1ヶ入り)
18	ソケットキャップスクリュー 6x15 (SUS)	2	00-00-0205 (4ヶ入り)
19	ソケットキャップスクリュー 6x12	1	00-00-0590 (4ヶ入り)
20	ソケットキャップスクリュー 5x12 (SUS)	8	00-00-0160 (4ヶ入り)
21	ソケットキャップスクリュー 5x12	2	00-00-0066 (4ヶ入り)
22	銅シーリングワッシャ 8mm	4	00-00-0650 (4ヶ入り)
23	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0064 (2ヶ入り)
24	アルミシーリングワッシャ 10mm	2	00-07-0106 (10ヶ入り)
25	インレットパイプ COMP. (5 軸加工)	1	03-02-0025
26	ユニオンキャップ	1	
TOOL	アルミスベシヤル (5g)	1	00-01-0001
TOOL	6 角棒レンチ 5mm	1	
TOOL	6 角棒レンチ 4mm	1	

番号	部 品 名	数量	リペア品番
A	インテークバルブ	2	14711-KYZ-T20
B	エキゾーストバルブ	2	14721-KYZ-T10
C	バルブスプリングシート	4	14775-KSS-T00
D	バルブステムシール	4	00-01-0015 (2ヶ入り)

番号	部 品 名	数量	リペア品番
E	バルブスプリング	4	14751-KYZ-T00
F	バルブスプリングリテーナー	4	14770-KSS-T11
G	バルブコッタ	8	00-01-0018 (4ヶ入り)
H	スタッドボルト 8x42	2	00-01-0136 (2ヶ入り)

オーバーサイズバルブガイド	入数
12237-KYZ-T00	1

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいますようお願い致します。

●シリンダーヘッドの取り付け

○キット内のロッカーアームと、アジャストボルトにエンジンオイルを塗布し、取り付ける。
(アジャストボルトの先端がロッカーアームより出ないようにする。)



○スーパーヘッドにロッカーアームを取り付ける。
キット内のロッカーアームシャフトに、モリブデン溶液を塗布し、EXの表記があるロッカーアームをエキゾースト側、INの表記がある方をインテーク側に取り付けます。



○ストッパープレートをソケットキャップスクリュー 6x12 (黒色) を用いて取り付けます。
その際、ストッパープレートの両端とロッカーアームシャフトの切り欠き部を合わせて取り付け、規定トルクにて締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○カムシャフト COMP. のベアリング部にエンジンオイルを差し、シリンダーヘッドに取り付けます。



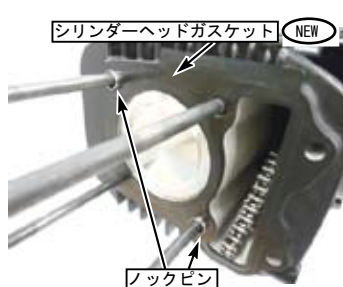
○キット内のカムシャフトサークリップを取り付け、カムシャフトを止める。
この時、シリンダーヘッドカム穴の切り欠き部を避ける様に、サークリップの合い口を合わせる。



○サークリップ溝にサークリップがきちんと、はまっている事を確認する。

▲注意：必ずサークリップが溝にはまっている事を確認する事。

○シリンダー上面をよく脱脂し、ノックピン、新品のシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付けます。



○カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付けます。

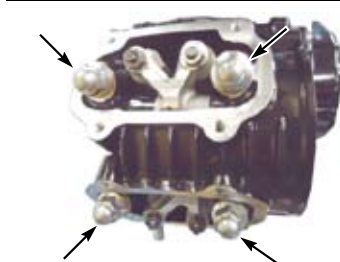


○キット内のシーリングワッシャ 4 個をスタッドボルトにセットし、ノーマルのシリンダーヘッドナット 4 個、シリンダーヘッドのサイドボルト 2 本を取り付けます。



○シリンダーヘッドナット 4 個を対角に数回に分けて、規定トルクにて締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
シリンダーヘッドナット
トルク：24N・m (2.4kgf・m)



○シリンダーヘッドのサイドボルト 2 本を交互に数回に分けて、規定トルクにて締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
サイドボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○フライホイールの“T”マークがジェネレーターカバーの合わせマークに合っているか確認し、カムスプロケットの“0”マークがシリンダーヘッドの突起と合うようにカムチェーンを付け、カムシャフトの溝にカムスプロケットの突起を合わせて取り付けます。

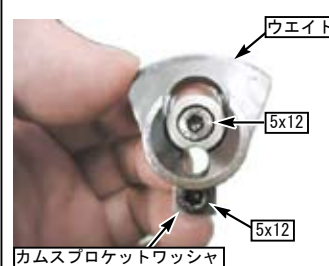


○ボルト穴にエンジンオイルを少量注入し、オイルフィルターボルトとシーリングワッシャを取り付け、規定トルクにて締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
オイルフィルターボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○ウエイトにカムスプロケットワッシャを通し、ソケットキャップスクリュー 5x12 (黒色) 2 本を上下の穴にセットする。



○ウエイトを下側にして、ソケットキャップスクリュー 5x12 (黒色) 2 本を用いてカムシャフトに取り付けます。
(この時、ソケットキャップスクリューネジ部に少量のエンジンオイルを塗布する。)



○クランクを固定し、カムスプロケットを固定しているソケットキャップスクリューを規定トルクにて締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- フライホイールの“T”マークと、カムプロケットの“0”マークが合っているか確認する。
- カムシャフトキット内のツマミネジにスナップリング 6mm、プレートを通して、カムシャフト COMP. のシャフトの先端に取り付け、手前に引き出す。



- シャフトの溝部にスナップリングを取り付ける。

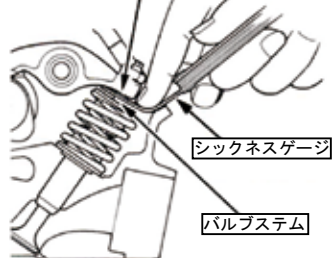
⚠ 注意：スナップリングは必要以上に広げない事。
⚠ 警告：スナップリングは必ず新品を使用し再使用しない事。



- タペットアジャストスクリューでバルブクリアランスを調整する。
IN: 0.05 ~ 0.08 (冷間時)
EX: 0.05 ~ 0.08 (冷間時)



アジャストスクリュー



- ☆ EX 側はデコンプ装置が解除されるようカムシャフト COMP. のシャフトを手前に引いた状態で調整する。



- タペットアジャストナットを規定トルクにて締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
タペットアジャストナット
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

- ツマミネジを外す。



- ※カムシャフト COMP. を交換する際には、アジャストボルトを先端がロッカーアームから出なくなるまで緩める。



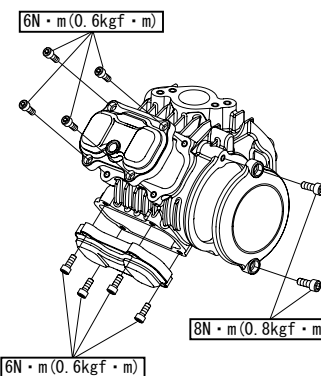
- キット内の L. シリンダーヘッドサイドカバー 0 リングに少量のエンジンオイルを塗布し、L. シリンダーヘッドサイドカバーに取り付け、キット内のソケットキャップスクリュー 6x15 2 本を用いて、シリンダーヘッドに取り付け規定トルクにて締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：8N・m (0.8kgf・m)



- キット内のインスペクションカバー 0 リングに少量のエンジンオイルを塗布し、インスペクションカバー及びインスペクションブリーザーカバーに取り付け、キット内のソケットキャップスクリュー 5x12 を用いてインスペクションカバーをシリンダーヘッドのエキゾースト側に、インスペクションブリーザーカバーをインテーク側に取り付け、規定トルクにて締め付ける。

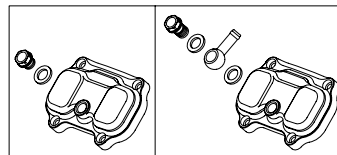
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：6N・m (0.6kgf・m)



- オイルキャッチタンクを使用しない場合は、シーリングワッシャ 1 枚とオイルプラグボルトを取り付ける。オイルキャッチタンクを使用する場合は、バンジョー 10mm をシーリングワッシャ 10mm 2 枚で挟み、バンジョーボルト A をインスペクションブリーザーカバーに取り付ける。

- ※オイルキャッチタンクの取扱説明書に従って、ホースの取り回しを行い、ユニオンの向きを決めてバンジョーボルト A を規定トルクにて締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト A
トルク：13N・m (1.3kgf・m)



- タイミングホールキャップ及びクランクシャフトホールキャップに 0 リングが付いている事を確認して取り付け、規定トルクにて締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
タイミングホールキャップ
トルク：6N・m (0.6kgf・m)
クランクシャフトホールキャップ
トルク：8N・m (0.8kgf・m)



クランクシャフトホールキャップ

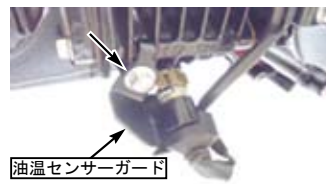
- 油温センサー及びシーリングワッシャをシリンダーに取り付け、規定トルクにて締め付ける。油温センサーのカブラを接続する。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
油温センサー / シーリングワッシャ
トルク：14.5N・m (1.5kgf・m)



- 油温センサーガードをボルト 1 本にてシリンダーに取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



- ノーマルヘッドから O₂ センサーを外す。

GROM (JC61-1300001 ~ / JC75-1000001 ~)、MSX125SF、モンキー 125 の場合は、特殊工具 (センサーソケット 17mm) を使用する。

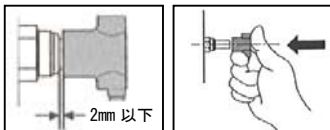
○O₂ センサー及びO₂ センサーガードをシリンダーヘッドに取り付け、O₂ センサーキャップをO₂ センサーに垂直に押しつけて接続する。

※O₂ センサーを斜めに取り付けない事。

※O₂ センサーとキャップ間の隙間が2mm以下であることを確認する。

※O₂ センサーのネジ部に少量のアルミスペシャルを塗布する。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
O₂ センサー
トルク：24.5N・m (2.5kgf・m)
O₂ センサーガード取り付けボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



※GROM(JC61-1300001～/JC75-1000001～)、MSX125SF、モンキー125の場合、O₂ センサーガードの約4.5mmの穴(下写真の矢印で示す方)を加工して5mmに広げる。
O₂ センサーの取り付けは、特殊工具(センサーソケット 17mm:08-02-0036)を使用する。



※ビッグスロットルキットの取扱説明書に従ってスロットルボディを取り付ける。
その際、インレットパイプは当キット付属品②⑤を使用する。
GROM(JC61)の場合、ビッグスロットルキット内のブラインドプラグは使用せずに当キット付属の②⑥ユニオンキャップにてユニオンに栓をする。
ノーマルスロットルを使用する場合、後記に従い作業を行う。
☆本キットの高い出力特性を引き出す為には、ビッグスロットルキットをご使用下さい。

●インレットパイプ/スロットルボディ/エアクリーナーケースの取り付け

○エアクリーナーケースのカバーを外し、エレメントを取り外す。
(写真はGROM/MSX125。モンキー125も同様に行う)



○矢印の箇所を切断し、チューブを取り外す。



○エレメント及びカバーをエアクリーナーケースに取り付ける。

○インレットパイプ/スロットルボディ/エアクリーナーケースをセットし、エアクリーナーケースのボルト2本(モンキー125は3本)を仮止めする。



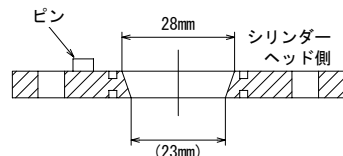
○専用のマニホールドアダプター両面にOリングを取り付けて、インレットパイプとシリンダーヘッドの間にセットし、ボルト2本にてインレットパイプをシリンダーヘッドに取り付ける。



☆ノーマルのインシュレーターのまま使用すると、インシュレーター径とシリンダーヘッドのポート径との差が大きい為、段差が生じます。加工又は専用のインシュレーターを使用して段差をなくす事でよりスムーズな出力特性を得られます。

*ノーマルインシュレーターを使用する場合の加工例

インシュレーターのシリンダー側(ピンがある方)の穴を下記の大きさに加工する。
(下図を参考にすること)



☆本キットのインタークポートに合わせた大きさまで加工するとOリング溝が削れてしまうので28mmまでの加工とします。

ご自身で加工出来ない場合は、弊社製の専用インシュレーターをご購入の上、取り付けて下さい。



マニホールドアダプターセット
品番：00-00-0610

○スロットルドラムカバーをボルトワッシャにて取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルトワッシャ
トルク：5.2N・m (0.5kgf・m)



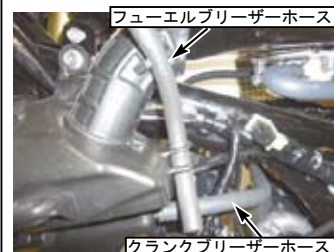
○仮止めしていたエアクリーナーのボルトを規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

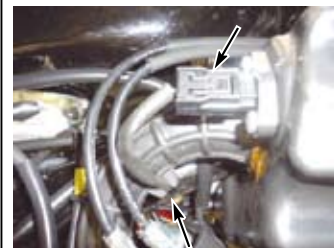
○コネクティングチューブをスロットルボディに接続し、コネクトホースバンドスクリューを締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
コネクトホースバンドスクリュー
トルク：1.5N・m (0.15kgf・m)

○エアクリーナーケースにクラックケースブリーザーホース、フューエルブリーザーホースを接続する。



○エアクリーナーケースに吸気温センサーのカブラを接続し、配線をコネクティングチューブのクランプに取り付ける。
(MSX125/SF、モンキー125 タイモデル除く)



○使用するエキゾーストマフラー
の取り付け要領に従い、エキゾーストマフラーを取り付ける。

○専用の FI コン TYPE-X の取り付け要領に従い FI コン TYPE-X を取り付け、インジェクターの取り付けを行い設定を行う。

☆インジェクターは、ビッグスロットルの場合 :05-04-0044、ノーマルスロットルの場合 :00-00-0487 を取り付ける。

☆エンジン始動☆

○専用のスパークプラグを取り付ける。
プラグのネジ部に少量のアルミスペシャルを塗布し、締め付ける。

⚠ 注意 : 必ず規定トルクを守る事。
スパークプラグ
トルク : 16N・m (1.6kgf・m)

指定プラグ
NGK : CR8EH9
熱価
デンソー : U24FER9
熱価

⚠ 注意 : プラグの焼け具合により熱価を設定する事。
∴ノーマルヘッドとはプラグの種類が異なる為、必ず専用のスパークプラグを使用する事。

○プラグキャップをスパークプラグに取り付ける。
○エンジンに付着した汚れをよく拭き取る。
○FI コン TYPE-X の初期設定を行う。
○エンジンを始動させる。

⚠ 警告 : 必ず換気のよい場所で行う事。

○異音など異常が無いかを確認する。
○異常が無ければ 30km から 50km 程度慣らし運転をし、再度バルブクリアランスを点検する。

⚠ 注意 : 必ず冷間時に行う事。

○100km から 150km 位まで再度慣らし運転を行う。
○慣らし運転終了後、異音やブローバイガスなど異常が無いかを確認する。
(異常がある場合は、再度エンジンを分解し、各部を点検する。)

⚠ 警告 : 再使用出来ないパーツは再使用しない事。

インスペクション / マニュアル

⚠ 警告：このインスペクションマニュアルは基本的な技能や知識を持った人を対象としておりますので、技術、知識の無い方は作業を行わないで下さい。

- 部品及びシリンダーヘッドは、分解後、点検、測定の前に洗浄した後、圧縮空気で吹き、良く乾かす。
- カムシャフトを潤滑するエンジンオイルは、シリンダーヘッドのオイル通路を通して供給される、シリンダーヘッド組立前にオイル通路を清掃しておく。
- 部品は、分解後取り外した場所がわかる様マーキングしておき、必ず元の位置に取り付ける事。

シリンダーヘッド整備諸元表

項目	使用限度	備考
バルブクリアランス IN	———	
EX	———	
シリンダーヘッド歪み	0.05mm	修正又は交換
バルブロッカーアームの内径	10.05mm	以上交換
ロッカーアームシャフト外径 IN/EX	9.92mm	以下交換
ロッカーアームとシャフトの隙間	0.10mm	以上交換
バルブガイド内径 IN	4.56mm	以上ガイド交換又はヘッド交換
EX	4.57mm	以上ガイド交換又はヘッド交換
バルブステム外形 IN	4.47mm	以上交換
EX	4.45mm	以上交換
バルブステムとガイドの隙間 IN	0.09mm	以上ガイド交換又はヘッド交換
EX	0.12mm	以上ガイド交換又はヘッド交換
バルブシート当たり幅 IN	1.5mm	以上修正又はヘッド交換
EX	1.7mm	以上修正又はヘッド交換
バルブスプリング自由長	35mm	以下交換

○専用工具：バルブスプリングコンプレッサー SET 品番 08-02-0038

○トルクの単位記述

1kgf・m = 9.80665 N・m (ニュートンメートル)

○モリブデン溶液→マーク (MO-OIL)

モリブデングリースとエンジンオイル1:1の割合で混合して作る。

∴モリブデン溶液塗布指示部には、モリブデン溶液、又は、アッセンブリーペーストを塗布する事。

○オーバーホール毎交換品→マーク (NEW)

分解毎に新品と交換する必要がある部品を示すので、必ず交換する事。

○アルミスベシヤル(耐熱潤滑ペースト)→マーク (AL-SPL)

・アルミスベシヤル=耐熱潤滑ペースト、高温、重荷重のカジリ、溶着を防止するグリース。

(用途、スパークプラグ、エキゾーストマニホールド等高温部に効果的)

☆指示無き部分には塗布しない事。

●バルブの分解

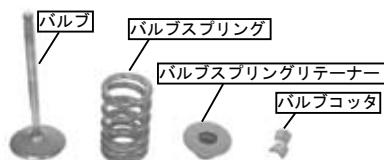
- ・バルブスプリングコンプレッサーを使用して、バルブスプリングを圧縮する。

⚠ 注意：必要以上バルブスプリングを圧縮しない事。

∴専用工具：バルブスプリングコンプレッサー SET
品番 08-02-0038



- ・バルブコッタを外す。
コッタが外れにくい時は、磁石を使用して外す。
- ・バルブスプリングコンプレッサーを外し、以下の部品を外す。
 - ・バルブスプリングリテーナー
 - ・バルブスプリング
 - ・バルブ



⚠ 注意：バルブ軸端に損傷があるバルブは、無理に取り外さず、バルブ軸端を修正してから取り外す事。

各バルブの曲がり、焼き付き、損傷を点検する。

- ・バルブステムの外径のガイド摺動面をマイクロメーターで測定する。
使用限度 IN:4.47mm EX:4.45mm
曲がり、傷、損傷のある物は交換する。



バルブガイドを点検する。

- ・バルブガイド内径を測定する。
使用限度 IN:4.56mm EX:4.57mm
- ・傷、損傷のある物はバルブガイド交換又は、シリンダーヘッドを交換する。



各バルブガイド内径からバルブステム外径を引いた値がガイド隙間である。
使用限度 IN:0.09mm EX:0.12mm

バルブシートの点検

- ・シリンダーヘッド燃焼室及びバルブのカーボン堆積物を取り除く。
- ・バルブフェースに光明丹をオイル等で溶かし、均一に薄く塗布する。



- ・バルブたこを使用して、バルブを軽く 1 回打ち、回転させる。
- ・バルブフェースに付着した光明丹を拭き取り、バルブたこを使用してバルブを回さずに軽く 1 回打ち、当たり面を確認する。



使用限度 IN:1.5mm 以上修正又は、シリンダーヘッド交換
EX:1.7mm 以上修正又は、シリンダーヘッド交換

- ・バルブシートに傷がある場合は、シートを修正する。
- ・当たり幅が広い、狭い、高い、又は低い場合は、シートを修正する。
- ・修正は、内然機関専門店又は、弊社まで依頼する。

ロッカーアームの点検

- ・ロッカーアームの傷、損傷、詰まり、ベアリングがスムーズに回転するかを点検する。
- ・ロッカーアームの内径を測定する。
- ・アジャストボルトを取り外し、点検する。
損傷がある場合交換する。



使用限度 10.05mm 以上交換

ロッカーアームシャフトの点検

- ・ロッカーアームシャフトの曲がり、傷、損傷を点検する。
- ・ロッカーアームシャフトの外径を測定する。
∴使用限度 :9.92mm 以下交換



ロッカーアームの内径からロッカーアームシャフト外径を引いた値が隙間である。

∴使用限度 :0.1mm 以上

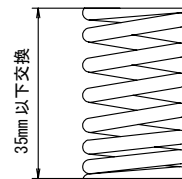
バルブスプリングリテーナーの点検

- ・バルブスプリングリテーナーのバルブスプリング当たり面及びコッター当たり面を確認する。
- ・傷、損傷のある場合、交換する。



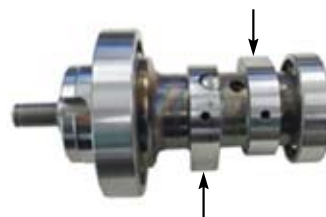
バルブスプリングの点検

- ・バルブスプリングの傷、損傷を点検する。
- ・バルブスプリングの自由長を測定する。
∴ 35mm 以下交換



カムシャフトを点検

- ・カムシャフトの傷、ひび割れ、損傷を点検する。



カムシャフトのベアリングを点検する。

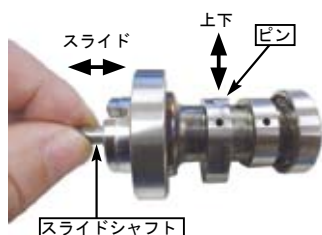
- ・ベアリングのアウターレースを指で回し、滑らかに回らない、アウターレースにガタがある場合、ボールベアリング又はカムシャフトを交換する。



- ・カムシャフトセンターのスライドシャフトを引っ張り、シャフト内のスプリングにテンションを掛けた後離し、スムーズにスライドし、シャフトが戻るかを点検する。
スムーズに動かない、スライドシャフトにスプリングのテンションが掛かっていない場合、カムシャフトを交換する。

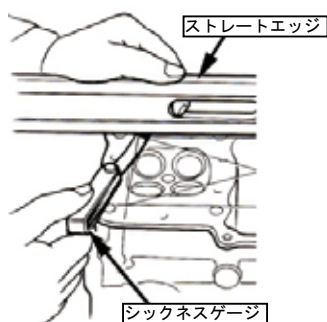


- ・スライドシャフトをスライドさせ、EX 側カム部にあるデコンプピンが上下するかを点検する。
シャフトをスライドさせてもピンが上下しない、シャフトが引っかかってスライドしない場合、カムシャフトを交換する。



シリンダーヘッド点検

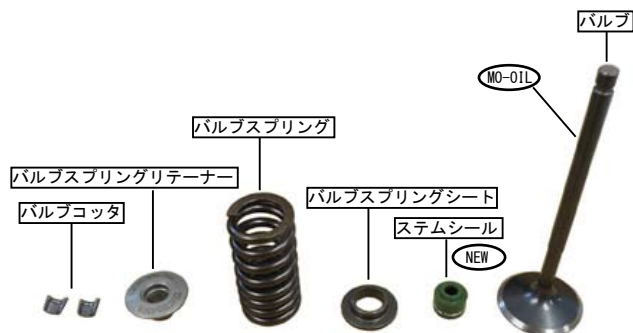
- ・スパークプラグ穴、バルブ穴付近の亀裂を確認する。
シリンダーヘッドの歪をストレートエッジとシックネスゲージで点検する。



使用限度 0.05mm 以上修正又は交換

●バルブの組立

- ・バルブスプリングシート、新品のバルブステムシールを取り付ける。
- ・バルブステム摺動面にモリブデン溶液を塗布し、ステムシールが損傷しない様ゆっくり回しながらバルブをバルブガイドに差し込む。



- ・バルブスプリングのピッチの小さい方を燃焼室側に向けて、バルブスプリングを取り付ける。

⚠ 注意：必ずピッチの小さい方を燃焼室側に向ける事。



- ・バルブスプリングコンプレッサーを使用してバルブスプリングを圧縮し、バルブコッタに少量のグリスを塗布しバルブコッタを取り付ける。

⚠ 注意：必要以上バルブスプリングを圧縮しない事。



- ・バルブステム先端を軽く 2～3 回たたき、バルブとコッタのなじみを良くする。

⚠ 注意：バルブを損傷しない様、注意する事。

